

実践記録（小4・総合）

1 ねらい

調べた情報を視点ごとに分類し、それを新聞にまとめることができるようにする。

2 手立て

Yチャートの活用

調べた情報を項目ごとに分類するために、Yチャートを活用する。「視点」は、事前に「問題」「原因」「解決策や取り組み」の3つを設定した。

また、新聞にまとめる際も「問題」「原因」「解決策や取り組み」という枠組みでまとめさせることで、Yチャートを活用しやすいようにした。こうすることで、説明の筋道が明確となり、読み手が分かりやすい新聞作りができるようになる。

3 実践の様子

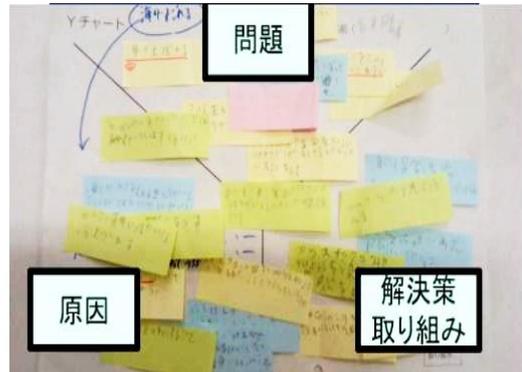
環境問題について、調べた情報を付箋へと書き出した。書き出した情報を前にして、はじめはどのように整理したら良いのか分からない様子であったが、Yチャートにまとめていくことで、「これは、『問題』の項目に当てはまる」「この問題の原因は…」などと、自分が集めた情報を視点ごとに分けていき、情報を整理することができた。また、情報を整理することで、環境問題について理解を深めることができた。【資料1】

「原因」「問題」「解決策や取り組み」の項目ごとに付箋を分類していくと、「解決策についての付箋が少ないから、もっと調べないといけないな」と発言する児童が現れた。そして、足りない情報について追加の調べ学習をする児童も見られた。【資料2】

新聞を作成する際には、各観点の中で自分が伝えたい情報を選択し、その情報を整理することで「問題」「原因」「解決策や取り組み」という読み手が分かりやすい新聞を作ることができた。【資料3】

4 成果と課題

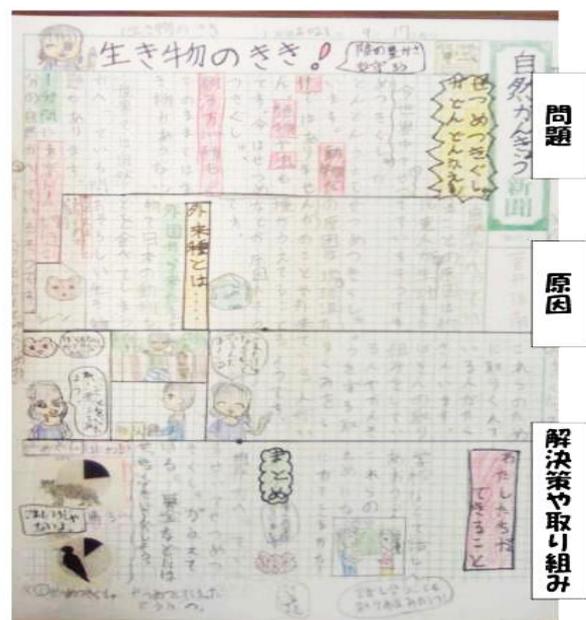
- Yチャートを用いて、「問題」「原因」「解決策や取り組み」の項目を整理・分類することで、説明の筋道が明確となり、新聞作りがスムーズになった。また、主張がはっきりとした新聞を作ることができた。
- 情報収集量が少なく、Yチャートを有効に活用することができない児童がいた。紙にまとめる情報収集では、限界があるため、ロイロノート等を活用し、調べた情報をそのまま利用できるような工夫をし、より多くの情報を集めることができるようにする必要がある。



【資料1 児童が作成したYチャート】



【資料2 追加で調べ学習を行う様子】



【資料3 児童が作成した新聞】